

11

★休診日★

7・14・21・28

★午前のみ★

3・5・12・19・
23・24・26



フィラリア予防は12月まで！！

「寒くなって蚊もいないからフィラリアのお薬はもういいや」

毎年、フィラリア予防を途中でやめてしまう方がおります。

フィラリア症は蚊に吸血されることで感染する寄生虫による病気ですが、フィラリア予防薬はこの虫が小さくて身体に影響のないうちに駆虫します。

ひと月に1回、およそ1カ月前に体内に入ってきた子虫を駆虫するため、予防薬をあげるのは蚊がいなくなってから1カ月後まで続けなければ意味がありません。

途中でやめてしまうと、それまでの苦勞が水の泡となって消えてしまいます。

◎犬フィラリア症はどんな症状？

子虫が親虫に成長し心臓と肺動脈に寄生すると様々な症状がでてきます。

ほとんどは慢性的な経過をたどりますが、まれに急性症状を示す場合があります。

- 咳をする
- 運動や散歩を嫌う
- 貧血(口や目の粘膜が白い)
- 腹水(お腹に水がたまる)
- 血尿(赤い尿をする)
- 痩せてくる
- 毛艶が悪くなる
- 食欲がなくなる
- 呼吸が浅く速くなる



◎猫にフィラリア予防は必要？

猫の場合は子虫が肺などを移動中に炎症を起こし、慢性的な呼吸器症状を起こすことがあります。また、ほとんどの子虫が心臓までたどり着けず、寄生する親虫の数が少なく、検査で発見されないため、診断が遅れることがあります。

万が一親虫が心臓に寄生すると、わずかな数でも血管に詰まり、急性症状を起こすことがあります。近年では、猫もフィラリア予防を行うことが推奨されるようになっています。

オノデラ動物病院

TEL : 022-767-7566

HP : onodera_grupo.jp



お腹のトラブルをかかえたワンちゃんに、おすすめの缶詰「i/dシチュー缶」サンプルあります。ご希望の方はスタッフまで！！